

2025 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社オリエンタルコンサルタンツホールディングス
代表者名 代表取締役社長 野 崎 秀 則
(東証スタンダード市場・コード番号 2 4 9 8)
問合せ先 取締役統括本部長 橋 義 規
TEL 0 3 - 6 3 1 1 - 6 6 4 1

株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング
「中部ミニフォーラム 2025」で、講演
2004 年から続く技術発表会

「確かな技術で、社会づくりに貢献する」をミッションに据える当社グループの事業会社である株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング（本社：東京都台東区、代表取締役社長：遠藤一郎）では、大切にしている価値観（バリュー）の一つとして、「品質・技術力で勝る会社になる」を掲げ、社員は自己研鑽に励んでいます。

2025 年 10 月 17 日にウインクあいち（愛知県産業労働センター・愛知県名古屋市中）で開催された「中部ミニフォーラム 2025」（主催：一般社団法人中部地質調査業協会・技術委員会、後援：公益社団法人地盤工学会・中部支部）で、同社社員が講演を行いました。

講演概要は以下の通りです。

土質調査・室内土質試験セッション	近年、地震や自然災害が頻発する中で、地盤の安定性を適切に評価することはますます重要になっている。
タイトル	一般的に地盤の液状化は、道路橋示方書や建築基礎構造設計指針に示される N 値を用いた簡易液状判定法（簡易法）により、液状化の発生リスクを評価する場合が多い。
「液状化検討における塑性指数の重要性」	これらの簡易法では、細粒分の混入が多いほど補正 N 値が大きくなり、液状化強度比が大きく算出されることから液状化の発生リスクが低下する。しかしながら、実際に液状化が生じるかどうかは、土の続成作用や靱性（粘り気）の度合い、また土の排水性が大きく作用すると考えられる。
発表者	本稿では、液状化強度試験（土の非排水三軸試験）の結果を踏まえて土の靱性（粘り気）に着目し、簡易法による液状化判定の留意点や課題、さらには液状化強度試験の有効性を考察する。
平井 陸大	

以上

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング
TEL:03-5246-4150
URL: <https://www.atk-eng.jp/>
経営管理本部 高田